

東電PG

東北産品の販売応援

宮城・福島復興フェアで



東電PGの社員が積極的に商品をPRした宮城・福島復興応援フェア(江東区)

東京電力パワーグリッド(東電PG)は15日、宮城ふるさとプラザが主催する「宮城・福島復興応援フェア」に参加し、同フェアは東京イースト21(東京都江東区)で一般客向けに開催され、NSCは事前購入と当日の販売協力で支援を行った。購入者は約530人(事前購入含む)、売り上げは約120万円(同)に上った。

当日はにぎわいを見せ、午前中から来場者が並び、予定より30分前倒しして販売を始めた。同フェアでは計12品目の商品を販売した。宮城県産として気仙沼や石巻、東松島の水産加工品、仙台限定販売の地酒、福島県産はドレッシングやもつ煮など多種多様な商品が並んだ。

東電PGの社員は「いろいろいませ」と元気づけ来場者に声をかけ、積極的に商品を説明しながらPRした。

NSCの齋藤忠所長は「処理水放出のタイミングで、我々が何をできるかということ

ずっと考えてきた。チラシを1万枚配布するなど近隣の方にも積極的にアピールした。商品自身に感じてもらうことが安心につながることを考えている。一人でも多くの人に東北の幸を口にしてほしい」と語った。

販売の補助をしたNSCの渡邊周平さんは「純粋に東北の県産品に関心を持ってもらっていると思う。今後積極的に(支援に)取り組みたい」と話して開催者の宮城ふるさとプラザの大蔵国孝店長は「(東電が)これまで復興支援活動を地域で根付かせてきたからこそ、今日の盛況があると思う。東電の組織力を生かして販路を広げ、減りきった需要を回復させてほしい」と、東電の応援に期待している。



八尾高校の生徒を前に「なりたい自分へ」をテーマに講演した重原氏

なりたい自分へ努力を

北陸電力 八尾高に「元氣塾」教育財団

北陸電力教育振興財団(理事長=山田外史・金沢大名誉教授)は6日、富山県立八尾高校(富山市)の生徒を対象に将来の夢や目標づくりのきっかけをつくる「元氣塾」を開催した。フリーキャスターの重原千子氏が「なりたい自分へ」と題して講演。2年生約150人が、将来に向けて挑戦する姿勢や前向きなコミュニケーションのあり方などを聞いた。

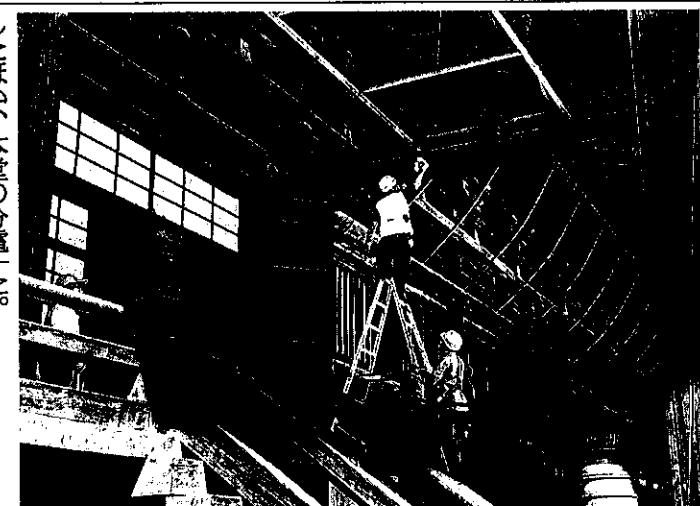
江田島の旧海軍兵学校 広島県

広島市から車ほど走ると日本からの深い江口。重艦が撃沈所など太平洋戦が多くなり、旧校時代から一世使われる、海上1術科学校の建存在る。これらの建物を守るため、日々にた。最初に案内は1917年にた鉄骨煉瓦(れ造の大講堂)写時は兵学校生徒や卒業式が行われも海自幹部候補式や卒業式の場。内部は吹雪約2千人を収容いう。

善光寺など名所安全に

長野電工組 電気設備の点検清掃

長野県電気工業工業組合(長野電工組)大田敬一理事長、中部電力パワーグリッド(PG)長野支社(山下貴司支社長)など、地域貢献の一環として、国玉・善光寺(長野市)や臥竜公園(須坂市)など地域の各所で電気設備の点検や清掃を行った。厳しい暑さの中、参加者は水分補給して熱中症に注意しながら、熱心に作業に取り組んだ。



善光寺の本堂にある灯具を点検清掃する参加者

この活動は、長野電工組と長野電引込工事センター、長野県電気工事協力が主催したほか、広報車で電気設備の安全利用を呼び掛けた。

善光寺では本堂や境内の点検、清掃が25日に行われ、今年で17回目を迎えた。電工組や中部電PGのほか、中部電気保安協会(市川弥生次理事長)から合わせて20人が参加。街路灯や本堂と回廊、境内の灯具を点検、清掃したほか、本堂の分電盤と配線設備を点検した。

多くの参拝客が訪れた。今回の活動は「ビジュアル」を最優先にデザインを検討したという。電柱広告のサイズは縦150センチ、横33センチ。屋外広告物として、都市景観の向上と屋外広告物に対する石川県民の関心を高める目的で、1988年度から屋外広告物を対象に表彰している。

北配電業 電柱広告 金沢に調和 石川県の景観賞受賞

北陸電力グループで電柱広告などを手がける北配電業(金沢市、新田英治社長)は、石川県が主催する「第36回いしかわ広告景観賞」を受賞した。



受賞作となった電柱広告看板の一つ。12種類の和柄広告を掲示し、このうち5種類が入選となった。受賞作品のデザイン、制作に携わり、表彰式に出席した北配電業営業部の宮村佳代さん(左)

「石川県ビジュアルデザイン協会賞」を受賞した。手作り指輪を販売するアイソラ(金沢市)の電柱広告看板で、和柄をメインとしたデザインが「街の景観の可能性を広げられる」として評価された。表彰式は11日に石川県庁で行われた。

アイソラの電柱広告看板は、金沢市中心部の大工町や片町、金沢駅周辺の本町、昭和町などに設置される。広告のほぼ全体に和柄を敷き詰め、下部に店名と2次元コードを控えめに入れたデザインとした。広告主のアイソラと打ち合わせを重ね、人の目に触れることを最優先にデザインを検討したという。

電柱広告のサイズは縦150センチ、横33センチ。屋外広告物として、都市景観の向上と屋外広告物に対する石川県民の関心を高める目的で、1988年度から屋外広告物を対象に表彰している。

北陸電力教育振興財団は、北陸電力創立30周年記念事業として北陸3県の高校教育振興を目的に1981年に設立した。2005年度から始めた「元氣塾」は22年度までに160回を数える。今年度は北陸3県の12校で講演会や課外授業を予定する。

三菱電機 4年ぶり秋祭り開催

名古屋製で多彩な催し賑わう

三菱電機名古屋製作所(名古屋市中区)は、4年ぶりに秋祭りを開催し、約1万2千人が訪れ、様々な催しを楽しんだ。開会式では、ボテビルターでお笑いタレントの「なかやまきんに君」のショーや、ものまねタレント「よよちゃん」によるライブが行われ、多くの観客

地域・グループ